

TOTO

シングルレバーシャワー金具



TMF30U型
TMJ30U型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。


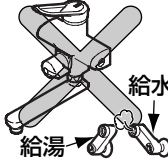



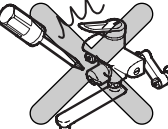
1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)



取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。


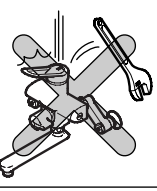


- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	<p>湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> 
	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

警告	
	<p>寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けない 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

注意	
	<p>強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実にを行う</p> <p>部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 

2

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅浴室用

3

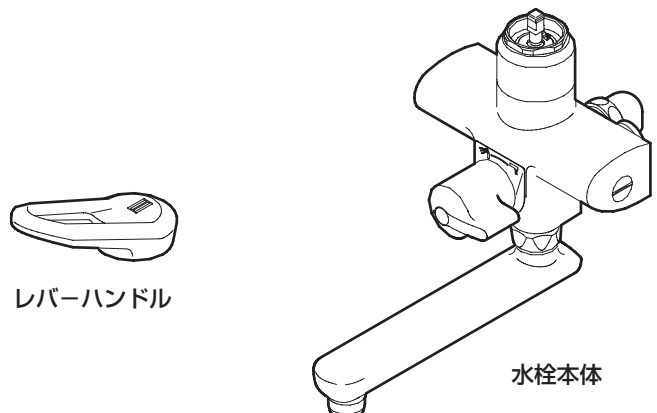
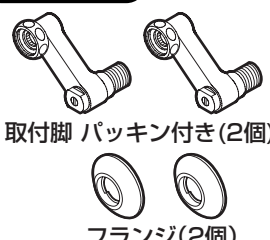
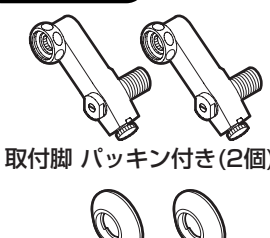
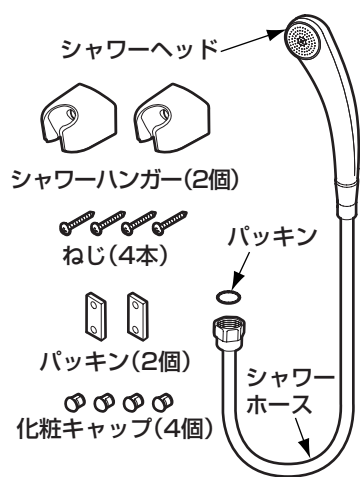

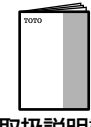

取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4

部品の確認

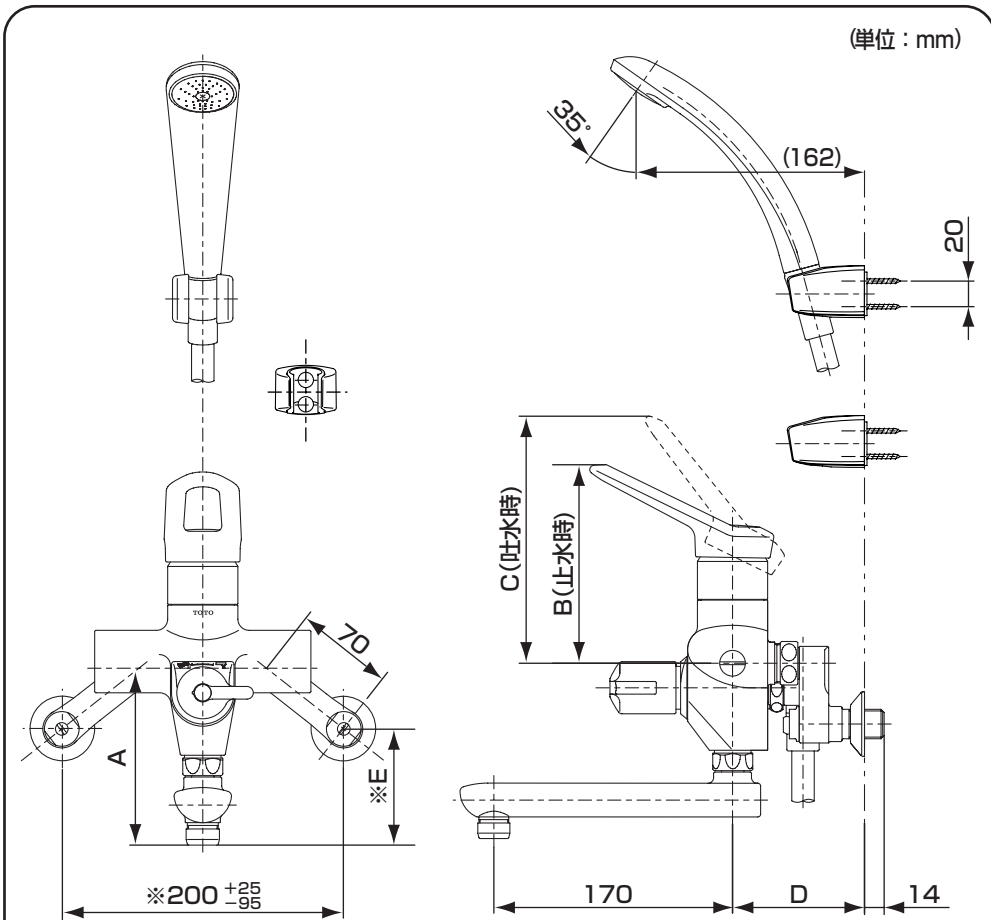
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部		
 <p>レバーハンドル</p> <p>水栓本体</p>		
取付脚部	ハンドシャワー部	その他
<p>一般地用</p>  <p>取付脚 パッキン付き(2個)</p> <p>フランジ(2個)</p> <p>寒冷地用</p>  <p>取付脚 パッキン付き(2個)</p> <p>フランジ(2個)</p>	 <p>シャワーヘッド</p> <p>シャワーハンガー(2個)</p> <p>ねじ(4本)</p> <p>パッキン</p> <p>パッキン(2個)</p> <p>化粧キャップ(4個)</p> <p>シャワーホース</p>	 <p>施工説明書</p> <p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>取扱説明書</p>  <p>水抜き方法ラベル (寒冷地用のみ)</p>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

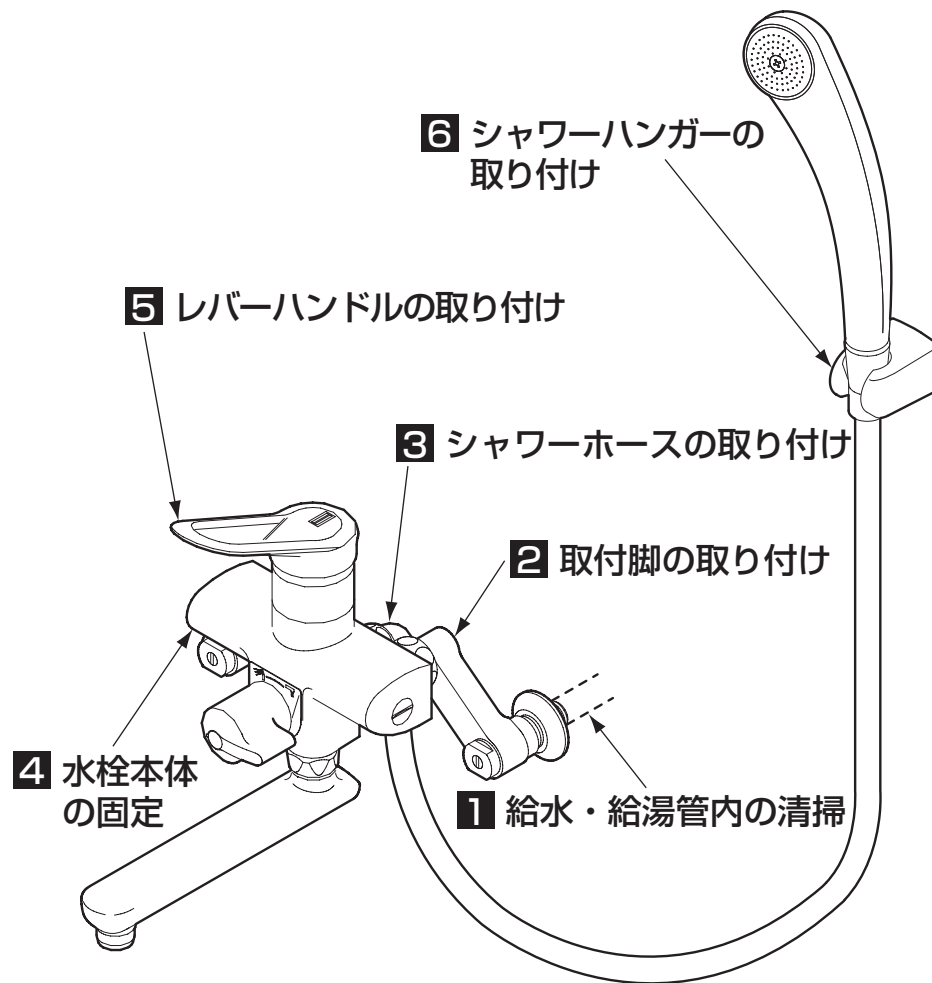
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※は配管ピッチが（標準 最長 最短）の場合です。

	A	B	C	D	※E
TMF30U型	126	141	176	94±5	83 $\begin{smallmatrix} +25 \\ -26 \end{smallmatrix}$
TMJ30UC3型	94	132	178	98±5	51 $\begin{smallmatrix} +25 \\ -26 \end{smallmatrix}$

6-1 施工手順



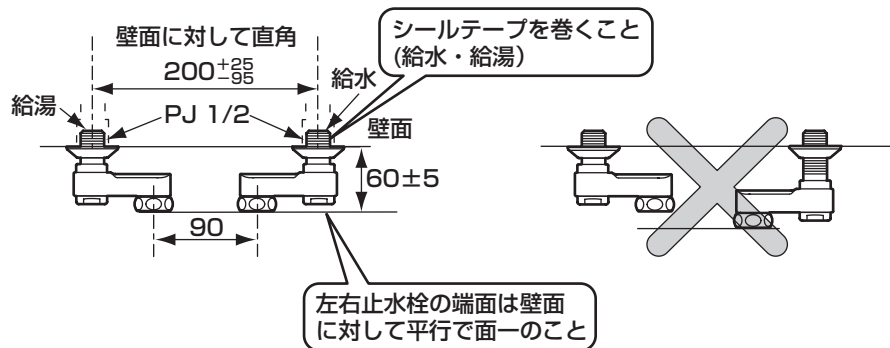
1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

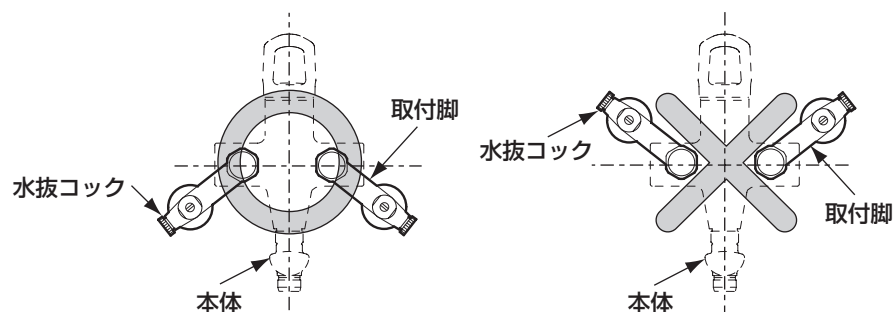
重要

2 取付脚の取り付け

取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)



※寒冷地用の場合は取付脚の水抜コックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。

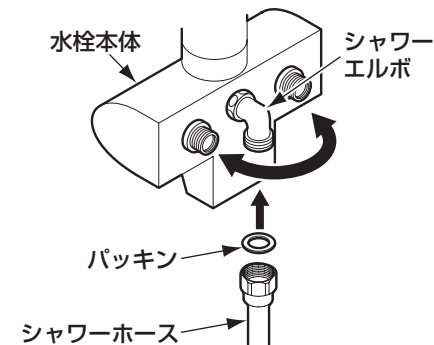


3 シャワーホースの取り付け

- ① シャワーエルボが左右に振れることを確認する。
- ② シャワーエルボにシャワーホースを取り付ける。

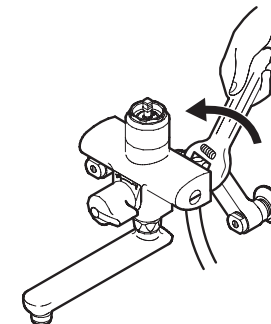
注意

パッキンが入っていることを確認してください。



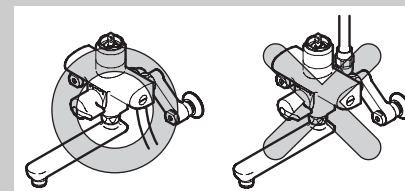
4 水栓本体の固定

- ① 水栓全体を取付脚に取り付ける。
- ② 水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。



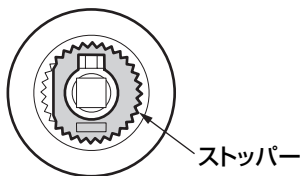
注意

- ゆるみがないようにしっかり締めてください。
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- シャワーホースを取付脚の下から取り出してください。
上から取り出した場合、ホースの折れや破損のおそれがあります。

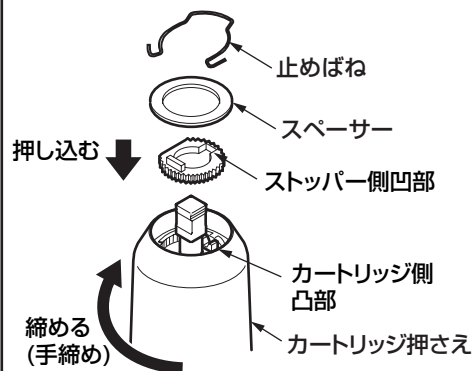


5 レバーハンドルの取り付け

- ① ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
 ※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部をあわせて押し込んでください。



〈浮きや外れがある場合〉



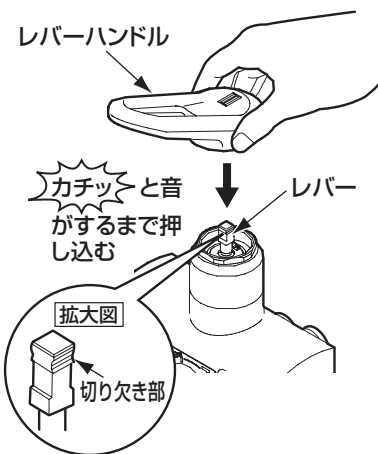
※カートリッジ押さえの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを**締め込む方向**にて歯をあわせるように調整してください。

- ② レバーハンドルとレバーの方向性に注意し、押し込む。

注意

レバーハンドルと切り欠きとの方向性に注意してください。
 レバーの切り欠きは**両サイド**にあります。

- ③ レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

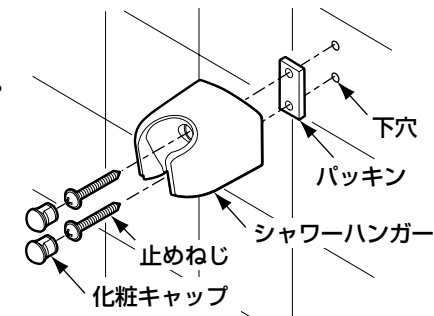


注意

万一方向を間違えて取り付けたときは、レバーハンドルを一度引き抜いて方向をあわせて再度押し込んでください。

6 シャワーハンガーの取り付け

- ① 下穴を開ける。
 ※取付位置は「5 完成図」を参照
- ② パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。
- ③ 止めねじでシャワーハンガーを固定する。
- ④ 化粧キャップをねじ穴に確実に差し込む。



使用上の注意

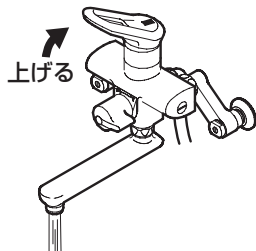
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません**。
 お客様に十分ご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいっているため、故障ではありません。
使い始めに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

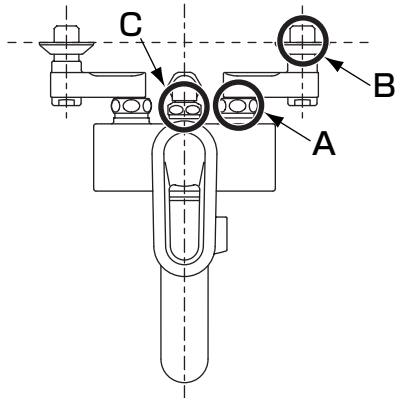
水出し確認

配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

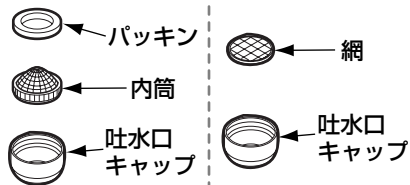
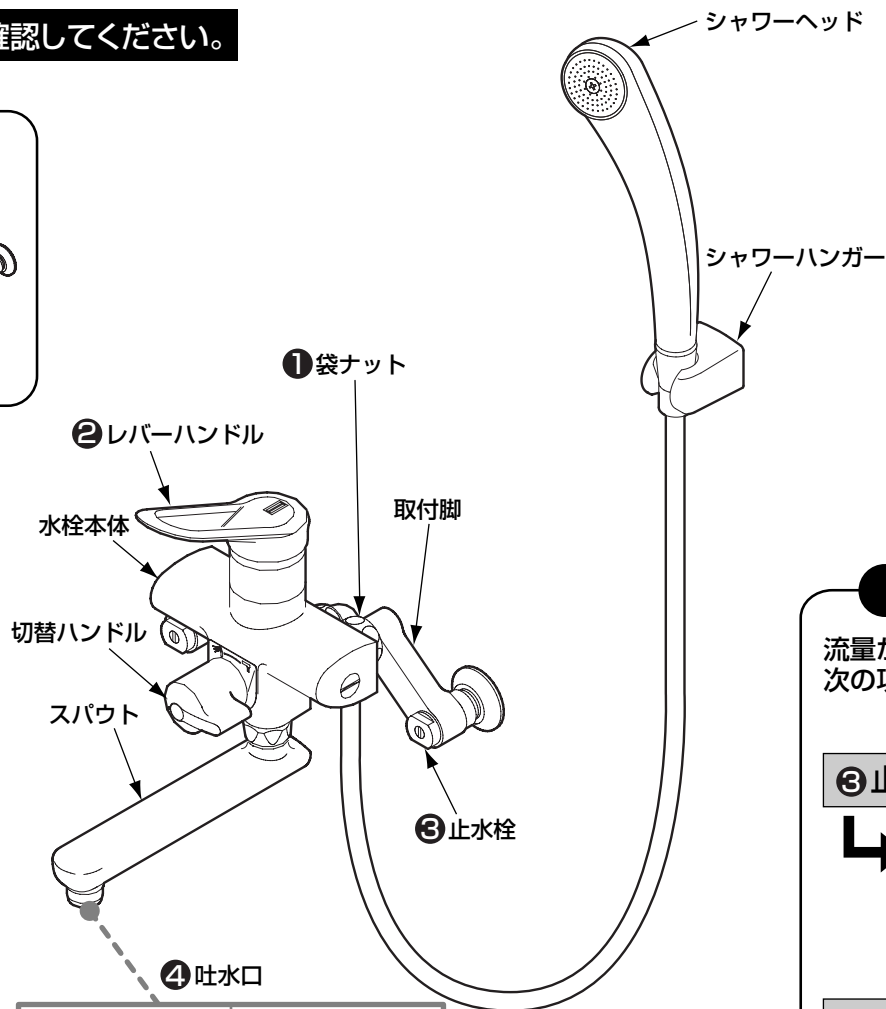


A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどが無いことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。



ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

① 袋ナットのゆるみはないですか？

↳ 6-2-4 「水栓本体の固定」参照

② レバーハンドルは、しっかり差し込まれていますか？

↳ 6-3-5 「レバーハンドルの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

③ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。



④ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ 吐水口の掃除をする。



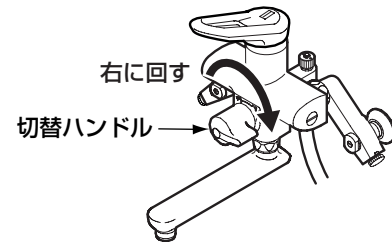
9

寒冷地用の水抜き方法

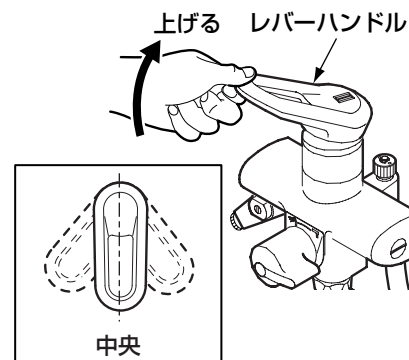
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

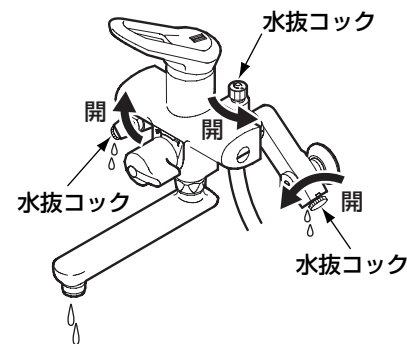
2. 切替ハンドルを右いっぱいに戻す。



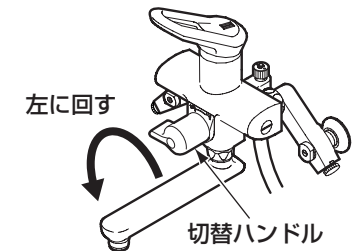
3. レバーハンドルを中央位置で上げる。



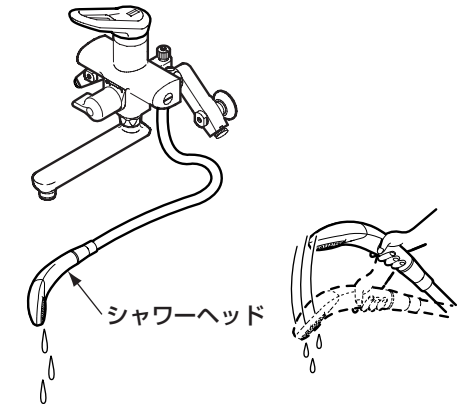
4. 水抜コック(3カ所)をすべて開け、水栓内の水を抜く。



5. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを左いっぱいに回す。

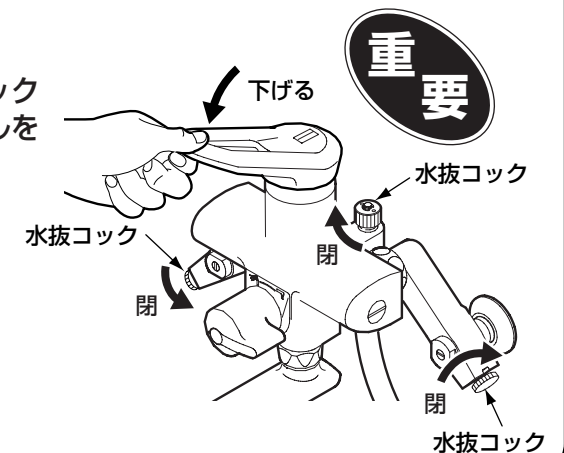


6. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。



7. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。

8. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを確実に閉め、レバーハンドルを下げる。(水が出ない状態)



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。